

写実的な絵の描き方 (1)

■ 面分割の方法

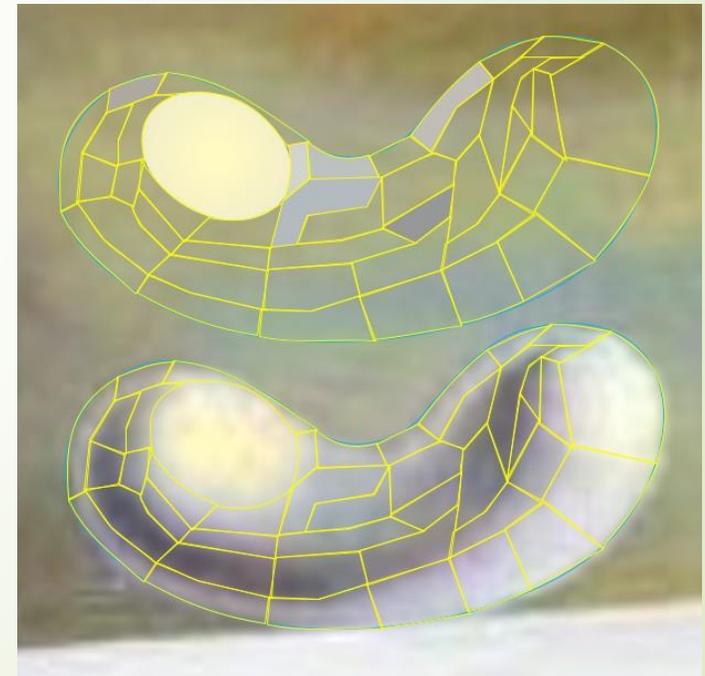
- 「既定の図形」の色と面塗り色を定めておきます。面塗りは95%以上の透明色にしておきます。（パレットとして用意しておくとも便利です）こうすることで、元画像の色の確認と描いた面の選択がし易くなります。
- 面分割にはフリーフォームを使用します。
- 同じような色の部分を面に分けます。
- グラデーションのある部分は複雑な形を避け、比較的単純な長方形、三角形、円などの面に切り分けます。
- 複数の面の境界線を合わせ易くするため、直線を基本に面取りします。

■ 面塗りの方法

- 面塗りをする場合は面分割図形をグループ化して、元画像の位置から移動し、元画像と対比しながら色塗りします。
- 右図のようにグループ化した面分割図形をコピーして、近くに配置すれば、対応する分割面の色が分かりやすくなり、スポイト機能による色抽出もし易くなります。
- グラデーションはグラデーションの方向を分割面毎に調整しながら行います。



面分割



色塗り用の図形のコピーの配置

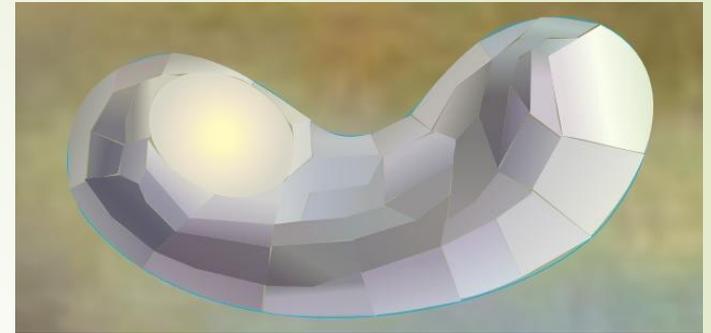
写実的な絵の描き方 (2)

■ 分割面の接合調整

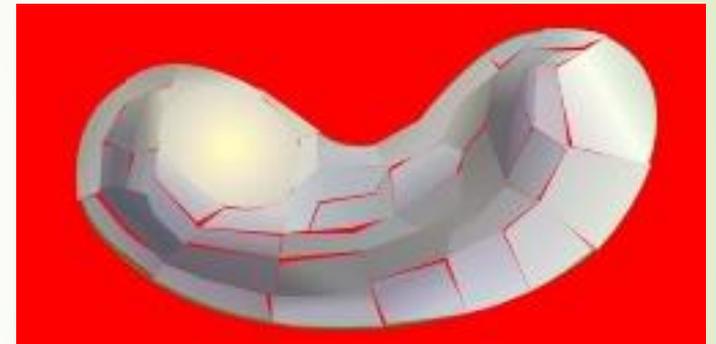
- 色塗りをすると分割した面の境界付近に多数の隙間が目立つようになるので、頂点の編集機能を用いて隙間を潰します。
- 図形全体の輪郭線（右図の青い輪郭線）を描いておいて、これを背景図形とし、隙間が目立たないような色にしておくのもひとつの方法です。
- 境界面の隙間を完全になくすには、背景右下の図のように背景を赤くするなどして隙間を目立たせるようにして、頂点の編集によって隙間を潰します。

■ グループ化した図形を画像として保存

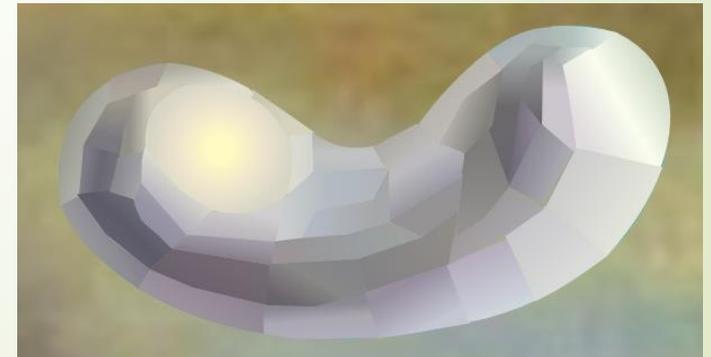
- 色塗りをして、分割面間の境界線を調整したら、Power Pointによる描画作業は終了です。
- 全ての図形をグループ化してから、画像として保存し、別ファイル（Png や Jpeg など）にしておきます。



色塗りのした分割面



すり合っていない部分を目立たせる



分割面間の境界線調整後の図形

写実的な絵の描き方 (3)

■ ぼかし処理

- 境界線付近のグラデーションが不連続になる場合は、PIXLRなどの画像処理ソフトの各種機能を利用します。
- ◆ ぼかしツール
 - 小さなぼかしに有効なツールです。何度も擦る必要があります。
- ◆ スポット修復ツール
 - 本来は不要なものを除去するためのツールですが、大きなぼかしをいれるのに有効です。
- ◆ 指先ツール
 - 指先で色をかき混ぜるようなツールで、毛羽だったようなぼかしにする際などに利用します。



元の画像（下）とぼかしを加えた画像（上）